

『今日は、東円寺の観音様のお話をしようかのう。東円寺の観音様のお話を
する前に、観音様と言っても様々なお姿をしているんじやが、そのお名
前をクニマッスは知っているか。』

『知っているでまっすん。東円寺の観音様は聖観音様でまっすん。それ
に、如意輪観音や馬頭観音、十一面観音などがいらっしゃるでまっすん。
そのお姿は様々で、立像や座像があるでまっすん。』

『偉いぞ。よく学んでおるな。観音様はできるだけ多くの人々を救うた
めに、三十三のお姿に変身できると言われておるんじやよ。東円寺の聖
観音様は座ったお姿で、一つのお顔と二本の手を持ち、左手に蓮を、右
手は拝む形をしているんじや。聖観音としては珍しいお姿なんじやよ。』

『1317年に造られたと聞いているでまっすん。』

『そうなんじや。2017年には、700年を迎えられるんじやよ。そのよ
うな時に、同じ時を過ごせるということは、記念すべきことだと思
うんじやよ。お姿は、とてもシンプルなんじやが、そのお力は凄

いんじやぞ。さて、クニマッスが紹介した如意輪観音様のお姿は如意宝珠や法輪などをもち、どん
な願い事も叶えてくれる。お顔は一つで、手は2本、4本、6本、12本など様々なんじやが、多くは片
膝を立てたお姿をしておるぞ。馬頭観音様は、頭上に馬をいただく観音様じや。観音様としては唯
一、憤怒の表情をしているんじや。顔は3面、手は8本あるんじやよ。十一面観音様は、大きな頭
の上に10の小さな顔をつけておられるんじや。頭の一番上の阿弥陀如来像は、数には入らないないん
じや。11の顔の向きや表情には決まりがあって、あらゆる人々を守るとされているんじや。そのほか
にも様々なお姿の観音様がおられるが、全国には様々な三十三観音霊場があってな、時間を作
って観音霊場巡りをするこもお勧めじや。』

『最近、若い人たちにも、御朱印を集めることが流行っていると聞くでまっすん。御朱印をいた
ただけでなく、寺院の仏様を知ると、楽しくなるでまっすん。』

『そうじやな。さて、東円寺の聖観音様は、7月9日から、山梨・静岡両県で開催される「世界遺産登
録記念特別展 -富士山と信仰と芸術-」に出展されるために、年末までお留守なんじやよ。開催
地や日程については、後日知らせが入ることになっておるので、また、通信でお知らせしようと思
っているんじやよ。多くの人に見に行きしてほしいのう。』

『長い間、お留守になってさみしいでまっすん。けれども、きっと、多くの人々の願いをお聞きになると

思うと、素晴らしいことだでまっすん。次回
はどんな話をしてくれるでまっすん。』

『次回は、不動明王のお話をしようと思っ
ておるんじや。』

※聖観音様のご真言

「オン・アロリキヤ・ソワカ」



ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは案内責任者)

クニマッス

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

口癖 でまっすん..